

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
歴代表彰者一覧(平成18年度～平成29年度)

平成18年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞 表彰者 (平成18年9月16日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	野口美和子	平成8年～ 正会員
	兼松百合子	平成8年～ 正会員
	川田智恵子	平成8年～ 正会員

平成19年度 日本糖尿病教育・看護学会 フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (平成19年9月15日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
フロンティア賞	河口てる子	平成8年10月13日～ 正会員 理事長:平成12年4月1日～20年3月31日 第2回日本糖尿病教育・看護学会学術集会会長 「看護師の活動機会拡大のためのシステム構築」「看護師にパワーを」を目標に、糖尿病教育を行っている看護師の活躍の機会を拡大し、能力を開発するためのシステム構築
	阿部邦子	平成14年7月27日～ 正会員 「フットケア・靴の改善・促進」 看護が主導してフットケアに取り組み、靴店ともタイアップしてケアの質向上に貢献。「糖尿病患者のフットケア」の第一人者
奨励賞	森加苗愛	平成10年8月8日～ 正会員 糖尿病看護認定看護師 認定看護師委員会委員:平成14～16年 「網膜症教材:めだまんずの開発と商品化」「糖尿病性網膜症の眼球模型(めだまんず)」を開発し特許取得。企業と提携し製品の制作・販売
	魚里明子	平成12年9月22日～ 正会員 慢性疾患看護専門看護師 「看護職の独立開業の試み」 NPO法人健康サロンくつろぎ開業、地域に密着した生活習慣病予防のための取り組み

平成20年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (平成20年9月6日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	佐藤昭枝	平成8年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の立ち上げに尽力し、第2回学術集会では学術集会会長を務める。平成8年度から現在に至るまで本学会の理事を務め、長きにわたり本学会の発展に貢献している。
	渡辺鈴子	平成12年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の大分県のネットワーク委員として大分県糖尿病療養指導士のレベルの維持・向上に貢献している。 また、九州・沖縄ブロック委員としても活躍しており、地域における糖尿病看護の発展に長きにわたり貢献している。
フロンティア賞	瀬戸奈津子	平成9年～ 正会員 糖尿病看護認定看護師の育成とその活動を広く支える。 また、平成20年度の診療報酬改定において糖尿病合併症管理料の獲得に向け糖尿病看護認定看護師の実践をアウトカムとして示すことに尽力した。 平成20年度からは広報委員会担当理事を務め、本学会の活動を支えるとともに糖尿病看護の発展に大きく貢献している。
	森小律恵	平成8年～ 正会員 糖尿病看護認定看護師として、また日本糖尿病教育・看護学会研修推進委員会のメンバーとして当学会主催の研修会の企画・運営に携わり、学会員へ質の高い学習機会の提供に尽力した。 平成20年度からは会計理事を務め、本学会の活動に大きく貢献している。
奨励賞	下村裕子	平成8年～ 正会員 平成12年度から8年間にわたり日本糖尿病教育・看護学会の理事として当学会の活動を支え、特にホームページの開設から維持・管理システムの構築に尽力した。 平成20年度からは広報委員会のメンバーとして、引き続き広報活動に貢献しており、今後の活動が期待される。
	肥後直子	平成13年～ 正会員 糖尿病看護認定看護師として、また日本糖尿病教育・看護学会研修推進委員会のメンバーとして、当学会主催の研修会の企画・運営に携わり、学会員へ質の高い学習機会の提供に尽力した。 地域における糖尿病看護のレベルの維持・向上にも貢献しており、今後の活動が期待される。

平成21年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者（平成21年9月20日）		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	川口洋子	平成8年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の北海道ネットワーク委員として、北海道糖尿病療養指導士のレベル維持・向上に貢献した。また北海道糖尿病看護研究会を設立し、長きに亘り地域における糖尿病看護の質の向上と発展に大きく貢献している。第14回学術集会では学術集会会長を務める。
	加藤愛子	平成8年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の福岡県のネットワーク委員として福岡県糖尿病療養指導士のレベルの維持・向上に貢献した。また長きに亘り九州・沖縄ブロック委員としてリーダーシップを発揮し、地域における糖尿病看護の発展に大きく貢献した。
フロンティア賞	米田昭子	平成11年～ 正会員 平成20年度から看護研修会認定委員会担当理事を務め、本学会の活動に大きく貢献している。また特別委員会の委員として、当学会主催の糖尿病重症化予防(フットケア)研修会の企画・運営に携わり、学会員へ質の高い学習機会の提供に尽力された。また慢性疾患看護専門看護師として、広く糖尿病看護の発展に貢献されその活躍はめざましい。
奨励賞	添田百合子	平成11年～ 正会員 慢性疾患看護専門看護師として、日本糖尿病教育・看護学会主催の糖尿病重症化予防(フットケア)研修会をはじめ、学会員に質の高い学習機会の提供に尽力された。また広く糖尿病看護の発展に寄与され今後の活躍が期待される。
	曾根晶子	平成12年～ 正会員 慢性疾患看護専門看護師として、糖尿病合併症重症化予防(フットケア)における記録用紙の作成、また日本糖尿病教育・看護学会主催の研修会の企画・運営に携わり、学会員への質の高い学習機会に尽力した。今後の活動が期待される。
	大倉瑞代	平成16年～ 正会員 糖尿病看護認定看護師として、また日本糖尿病教育・看護学会研修推進委員会のメンバーとして、当学会主催の研修会の企画・運営に携わり、学会員へ質の高い学習機会の提供に尽力した。糖尿病合併症重症化予防(フットケア)における記録用紙の作成に寄与され今後の活動が期待される。

平成22年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者（平成22年10月10日）		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	河口てる子	平成8年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の設立ならびに創世記の学会運営体制の確立に尽力し、第1期は副理事長と庶務理事、第2期から2期にわたり理事長を務め学会の発展に大きく貢献した。また糖尿病看護認定看護師の認定、日本糖尿病療養指導士認定機構の制度の確立に尽力し貢献した。常に広い視野を持ち、秀逸なる指導力で糖尿病看護の発展に大きく貢献している。
	安酸史子	平成8年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会設立時から初代理事として学会の発展に尽力され、編集担当理事・編集委員長、第10回学術集会学会会長を務め学会の発展に貢献した。また福岡県立大学看護実践教育センターに糖尿病看護認定看護師教育課程を設立し、糖尿病看護認定看護師の育成に尽力している。患者教育論、自己効力理論の活用を広め看護師の質の向上、実践能力向上に貢献している。
フロンティア賞	任 和子	平成8年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の看護研修推進委員会担当理事として、研修会を通じて糖尿病看護の新しい知見を広め質の向上に貢献した。また特別委員会の担当理事・委員長として糖尿病重症化予防(フットケア)研修会の企画・運営に尽力し、糖尿病看護におけるフットケアの質の向上および診療報酬算定における糖尿病看護の評価において貢献している。
奨励賞	松永京子	平成12年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会のネットワーク委員会委員として活躍し、糖尿病重症化予防(フットケア)研修会の企画・運営やファシリテーターのマニュアル作成に貢献し、学会員に質の高い学習機会を提供することに尽力した。また九州地方の糖尿病看護の充実レベルの向上に貢献し、今後の活動が期待される。
	水野美華	平成10年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の編集委員会委員、広報委員会委員として活躍し本学会発展に貢献した。また東海地区の糖尿病看護認定看護師会の立ち上げに貢献し、優れたリーダーシップのもと、地域の糖尿病看護の質の向上に貢献している。今後の活動が期待される。
	岡崎優子	平成13年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の研修推進委員会委員として、会員への質の高い学習機会の提供に尽力した。また糖尿病重症化予防(フットケア)研修会では企画・運営に携わり、糖尿病看護におけるフットケアの質の向上に貢献した。今後の活動が期待される。

平成23年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者（平成23年9月24日）

賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	堀口ハル子	平成8年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の設立時から会員であり、長年評議員も務められ、地域のコメディカルや医師と協働して糖尿病患者のケアの質の向上に貢献した。特に、西東京地域の糖尿病看護ネットワークづくりの中核的役割を担い、所属施設では、次世代の糖尿病看護に携わるスタッフの育成に労力を惜しむことなく支援され、糖尿病看護の発展に大きく貢献した。
フロンティア賞	数間恵子	平成14年～ 正会員 大学での看護学の研究と臨床の場をつなぐ活動を長きにわたり継続してきた。平成20年の診療報酬改定では、糖尿病合併症管理料の獲得に向け、自らの看護外来における「療養指導料」に関する実践データおよび会員の有するデータをまとめ、特別委員会委員としてリーダーシップを発揮して申請活動に貢献した。第15回学術集会では学術集会会長を務め、さらに現在は副理事長として、本学会および糖尿病看護の発展に大きく貢献した。
奨励賞	青木美智子	平成12年～ 正会員 平成18年から特別委員会「糖尿病に強い看護師育成支援委員会」の委員として、研修プログラムの作成および研修事業引き受け施設に対するフォローアップに尽力した。平成20年、本事業が政策委員会に引き継がれた後も継続してその中核的役割を担いその発展に貢献している。また、本学会の会員への研修会の企画・運営等、糖尿病看護認定看護師として幅広く活躍され、本学会および糖尿病看護の発展に寄与した。
	市川より子	平成10年～ 正会員 本学会の被災地域県のネットワーク委員として、東日本大震災の際には被災地からの糖尿病患者を受け入れて看護に尽力するとともに、福島県糖尿病療養指導士会相双支部の被災状況および各支部の会員の状況を調査して課題を明確化するなど、被災地域の災害時の糖尿病看護に多大な貢献をした。
	佐々木幸子	平成10年～ 正会員 本学会の被災地域県のネットワーク委員として、東日本大震災後、インスリン製剤の入手等の相談窓口となり、周辺地域の看護師への情報提供および被災地の糖尿病患者やご家族の状況を積極的に情報発信するなど、被災地域の災害時の糖尿病看護に多大な貢献をした。
	星野ゆかり	平成12年～ 正会員 本学会の被災地域県のネットワーク委員として、東日本大震災の際には所属施設を活用し、糖尿病患者の看護に多大なるを尽力した。また、震災後3ヵ月後に糖尿病看護研究会を開催し、関連施設や関係職種と共に震災後の活動を共有し合うなど、被災地域の災害時の糖尿病看護に多大な貢献をした。

平成23年 日本糖尿病教育・看護学会 表彰論文賞（平成23年9月24日）

1期（第1巻第1号）～3期（第14巻第2号）の原著論文39本から審査

賞の種類	巻号・受賞者指名	タイトル
表彰論文賞	第5巻第2号・松田悦子、他	2型糖尿病患者の食事自己管理に対する自己効力と結果予期
	第6巻第2号・二宮啓子	思春期の糖尿病患者と親の療養生活に対する認識の相違が血糖コントロールに及ぼす影響
	第7巻第2号・米田昭子	2型糖尿病患者の身体感覚に働きかけるケアモデルの開発
	第11巻第2号・瀬戸奈津子	糖尿病看護における実践能力育成のための評価指標の開発(1)

平成24年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (平成24年9月29日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	金木恵子	平成8年～ 正会員 本学会の設立時から評議員、ネットワーク委員として活動し、特に関東地区の研修会やネットワーク作りに多大な貢献をした。また糖尿病教育入院クリニカルパスの作成や教育入院システム構築等の先駆的な実践活動は、その後の糖尿病看護の発展につながった。これら長年の糖尿病看護に取り組む姿勢は高く評価されるものである。
	小林貴子	平成8年～ 正会員 本学会の設立時から継続して多くの委員会活動に参画し、学会の発展に貢献をした。特に研修推進委員会における活動では、学会員の研修の機会の拡充に努め、新しい課題を提案するなど研修会の企画運営に尽力した。これらの先駆的活動は、本学会および糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。
フロンティア賞	清水安子	平成8年～ 正会員 本学会の設立時から継続して委員会活動に参画し、学会初の書籍「糖尿病看護フットケア技術」の編纂など学会の発展に貢献をした。特に2008年からは編集委員会委員長として、学会誌発行事業に勢力的に取り組み、糖尿病看護の学術的な向上および今後の発展を支える体制を整備した。これらの先駆的活動は、本学会および糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。
	菊原(旧姓杉宮)伸子	平成17年～ 正会員 本学会の研修推進委員として、研修会の企画運営において中心的な役割を果たし、会員への質の高い研修の提供に貢献した。特に糖尿病重症化予防(フットケア)研修では、プログラム作成から研修会企画運営等に重要な役割を果たし、研修会のファシリテーターモデルとしての活躍において多大な貢献をした。
奨励賞	柴山大賀	平成15年～ 正会員 本学会の編集委員会、政策委員会などの委員として積極的な活動を継続した。特に平成20年度の「糖尿病合併症管理料」では評価獲得において、海外文献を提供し、平成24年度の「糖尿病透析予防指導管理料」では医療技術評価提案書作成、厚生労働省ヒアリングの対応や情報収集など評価獲得に至る過程で重要な役割を果たし、糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。
	原田和子	平成16年～ 正会員 本学会のネットワーク委員会委員として、特に九州地区の研修会企画や運営等を行い、会員の糖尿病看護の質の向上に尽力した。また糖尿病重症化予防(フットケア)研修会や糖尿病看護認定看護師教育課程の講師を務め、九州地区の糖尿病看護におけるリーダーとして活躍し、糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。
	由浪有希子	平成16年～ 正会員 本学会の政策委員会委員として活躍し、企画運営を担当した「糖尿病に強い看護師育成研修」においては、全国の活動との統合や調整を進め、その質的向上や発展に貢献した。また東北地方の看護職を対象に研究会活動を推進し、糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。

平成24年 日本糖尿病教育・看護学会 感謝状授与 (授与年月日 平成24年9月29日)	
氏名	理由
博多歩 様	本学会のロゴマークを作成した。本学会の理念や活動がそのデザインの中に適確に表現されている。本ロゴマークは本学会の象徴として、今後活用されることとなるため、その功績を称え感謝の意を表した。

平成25年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (平成25年9月22日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	嶋森好子	平成8年～ 正会員 本学会の設立当初から学会運営に携わり、特に第4期理事長就任後は、本学会の一般社団法人化および運営体制の整備に多大なる貢献をした。また、糖尿病看護領域における看護技術の診療報酬評価に向けた働きかけ、および医療安全に対する推進活動は、その後の糖尿病看護の発展に寄与するものとなった。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
	正木治恵	平成8年～ 正会員 本学会の設立時から理事を4期務め、本学会の発展に多大なる貢献をした。特に認定看護師委員会の担当理事として、糖尿病看護認定看護師の育成に尽力したことや糖尿病看護に関する診療報酬評価に向けた活動は、看護の質の向上およびその役割を示すものとなった。また、研究推進委員会の委員長として、政策提言に向けた研究活動において多大なる貢献をした。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
フロンティア賞	黒田久美子	平成8年～ 正会員 本学会の政策委員として、糖尿病看護に関する診療報酬評価に向けた活動を精力的に行うとともに、「専門分野(がん・糖尿病)における臨床実践能力の高い看護師の育成強化推進事業」において、施設担当者交流会の開催を通して研修の役割や内容について検討を重ね、本事業の発展に多大なる貢献をした。また、本学会の研究助成事業においては、幅広い視点から研究の有効性について説き、本事業の発展に貢献した。
奨励賞	「災害時の糖尿病看護マニュアル」作成ワーキンググループ	本学会のネットワーク委員会の命を受け、「災害時の糖尿病看護マニュアル」作成ワーキンググループとして「災害時の糖尿病看護マニュアル」を作成し、糖尿病看護の質の向上に尽力した。 本活動は、今後の糖尿病看護の発展に大きく寄与するものである。 ●「災害時の糖尿病看護マニュアル」作成ワーキンググループメンバー (五十音順) 金子貴美江(メンバー代表) 市来祐里恵 柏崎純子 菊原伸子 西郷和枝 竹山聡美 塚本洋子 豊島麻美 中原美穂 土方ふじ子 松井浩子 宗村文江 村岡知美

平成26年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者（平成26年9月20日）

賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	杉田和枝	平成8年～ 正会員 本学会の設立当初から学会運営に携わり、ネットワーク委員会担当理事、表彰委員会担当理事として本学会の発展に多大なる貢献をした。また、特別委員会「糖尿病重症化予防(フットケア)研修推進委員会」委員として活動し、フットケアに携わる看護師の実践モデルとして会員の知識・技術の向上に寄与した。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
	照沼則子	平成9年～ 正会員 本学会の評議委員として長年本学会の発展に貢献した。特に糖尿病看護認定看護師委員会委員として教育および臨床現場の双方から認定看護師の育成に尽力し、糖尿病看護の質の向上に寄与した。また、日本糖尿病療養指導士認定機構においては、本学会からの推薦理事および認定委員会委員を努め、看護の代表としてその組織の構築に貢献をした。第18回学術集会においては学術集会会長を務め、本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をした。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
フロンティア賞	住吉和子	平成8年～ 正会員 本学会設立当初から評議委員として、長年本学会の発展に貢献した。ネットワーク委員会中国ブロック委員として地域の糖尿病看護の発展に寄与し、また編集委員会委員として学会活動に多大なる尽力をした。岡山県立大学認定看護師教育センターにおいては、糖尿病看護認定看護師教育課程の立ち上げから携わり、認定看護師の育成および糖尿病看護の質の向上に貢献した。 これらの活動は本学会および糖尿病看護の発展に大きく寄与した。
奨励賞	桐生史江	平成15年～ 正会員 本学会の広報委員会委員として、東日本大震災後の東北地方へのインタビュー活動など災害時の糖尿病看護の発展に多大なる貢献をした。また、研修推進委員会委員として事例検討会を中心とした研修会の企画・運営に尽力した。 これらの活動は本学会の発展および今後の糖尿病看護の質の向上に大きく寄与した。
	畑中あかね	平成15年～ 正会員 本学会の評議員として本学会の発展に貢献した。特に糖尿病重症化予防(フットケア)研修会では講師を務め、会員の知識・技術の向上のために精力的に活動した。また、編集委員会委員および政策委員会委員として本学会の活動に寄与した。 これらの活動は本学会の発展および今後の糖尿病看護の質の向上に大きく寄与した。

平成27年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞 表彰者（平成27年9月21日）

賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	中村慶子	平成8年～ 正会員 本学会の理事、評議員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動では、特に研修推進委員会委員、ネットワーク委員会委員として精力的に活動し、特に地域の糖尿病看護の発展に寄与され、その功績は大きいものである。また、第9回学術集会では学術集会会長を務め、本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をした。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
フロンティア賞	伊波早苗	平成10年～ 正会員 本学会の評議員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動においては、ネットワーク委員会委員として地域の糖尿病看護の発展に寄与し、研究推進委員会委員、編集委員会委員として学会活動に尽力してきた。また、本学会学術集会や研修会においては、シンポジストや講師を務め、会員への学びの機会を多数提供し、糖尿病看護の質の向上に寄与した。 これらの活動は本学会および糖尿病看護の発展に大きく寄与した。
	道口佐多子	平成8年～ 正会員 本学会の評議員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動においては、ネットワーク委員会委員として全国のネットワーク委員のリーダー的存在としてその活動を牽引し、看護師教育や市民への啓発活動に尽力し、糖尿病看護の質の向上に寄与した。 これらの活動は、本学会および糖尿病看護の発展に大きく寄与した。
	藤森陽子	平成8年～ 正会員 本学会の評議員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動においては、ネットワーク委員会委員として精力的に活動し近畿ブロックの糖尿病看護の発展に貢献され、また広報委員会においても学会活動に尽力し糖尿病看護の質の向上に寄与されました。 これらの活動は、本学会および糖尿病看護の発展に大きく寄与した。

平成28年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者（平成28年9月18日）		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	黒江ゆり子	平成8年～ 正会員 本学会の理事、評議員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動では、特に政策委員会委員長として糖尿病看護に関する診療報酬評価に向けた活動に取り組み、その活動は糖尿病看護の発展につながった。また第19回学術集会では学術集会会長を務め本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をした。これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
フロンティア賞	佐川 京子	平成15年～ 正会員 本学会のネットワーク委員会委員、広報委員会委員として長年本学会の発展に貢献した。特にネットワーク委員会では中国ブロック代表として中国ブロックのネットワーク委員の連携体制を築き、中国地区糖尿病看護研究会の立ち上げに尽力した。また地域の糖尿病療養支援に携わる医療スタッフの連携を強化するため、山口県糖尿病療養指導士会を設立し地域の糖尿病看護・医療の質の向上に寄与した。
奨励賞	中尾 友美	平成5年～ 正会員 本学会の研修会認定委員会委員、研修推進委員会委員として本学会の発展に貢献した。また、本学会主催・共催の「糖尿病重症化予防(フットケア)研修」においては企画やファシリテーター、講師を多数担当し、学術集会ではシンポジストを務めるなど会員への学びの機会を数多く提供し、糖尿病看護の質の向上に寄与した。

平成28年 日本糖尿病教育・看護学会 表彰論文賞（平成28年9月18日）		
4期(第15巻第1号)～6期(第19巻第2号)の原著論文7本から審査		
賞の種類	巻号・受賞者指名	タイトル
研究論文部門	第15巻第2号・清水安子、他	「糖尿病セルフケア能力ツール(修正版)の信頼性・妥当性の検討」
3期(第10巻第1号)～6期(第19巻第2号)の実践報告18本から審査		
実践報告部門	第10巻第1号・柳井田恭子、他	「ケアシステム立案技術を活用した幼稚園での糖尿病一次予防教室の実際」
	第13巻第1号・米田昭子、他	「外来における糖尿病患者へのフットケア－40例の5年間の実践報告」

平成29年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・奨励賞 表彰者（平成29年9月16日）		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	数間 恵子	平成14年～ 正会員 本学会の評議員・理事を長年務め、平成20年からは副理事長、続いて平成24年からは理事長として本学会の一般社団法人への移行期、変革期を支えその後の充実期に導びかれた功績は計り知れないものがある。また第15回学術集会では学術集会会長も務め、本学会の発展及び糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をした。これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
奨励賞	藤本さとし	平成12年～ 正会員 第20回の当学会学術集会において企画委員 実行委員長およびシンポジストを務め 学術集会開催時に中心的な役割を果たした。また香川県糖尿病療養指導士看護師ネットワーク「Qの会」設立当初より企画運営で長年中心的な役割をはたし、この8年間は同会会長として地域の糖尿病看護の知識・技術の普及に貢献しており その活躍は高く評価できる。これらの活動は本学会の発展および今後の糖尿病看護の質の向上に大きく寄与した。
	小江奈美子	平成15年～ 正会員 慢性疾患看護専門看護師として臨床において地域の糖尿病看護の発展に貢献してきた。また医療職への教育についても積極的に取り組んできており、本学会特別委員会(糖尿病透析予防支援)においても糖尿病腎症看護の豊富な経験を活かして糖尿病透析予防支援ガイドの作成や同支援質向上のための研修会講師を複数回担当し 会員への学びの機会を数多く提供して糖尿病看護の質向上に貢献した。

(敬称略)